

2 質問紙調査の結果

① 授業づくりに関する児童生徒質問紙と学校質問紙との関連設問

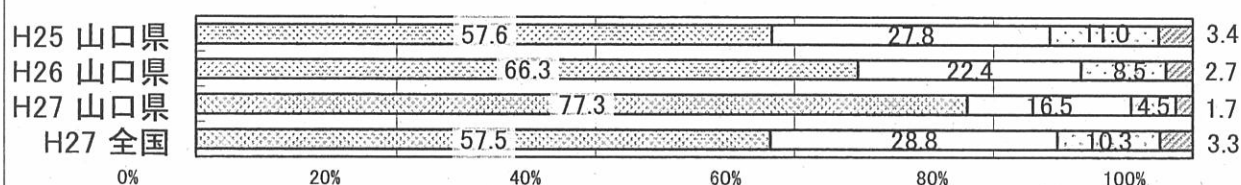
ア 授業の目標(めあて・ねらい)

- 授業のはじめに目標(めあて・ねらい)を示すことについて、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合と計画的に取り入れた学校の割合は、ともに年々増加しており、全国と比べて高い。
- 児童生徒と学校の回答状況を比較すると、「行った」と回答する児童生徒と学校の割合の差は小さくなりつつあるが、「よく行った」と考えている学校と児童生徒の割合には、まだ開きがある。
- ☞ 肯定的に回答した児童生徒の方が、全ての教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、引き続き、児童生徒に明確に伝わるよう目標の提示を工夫し、計画的に取り組むことが必要である。

[児童生徒質問紙]

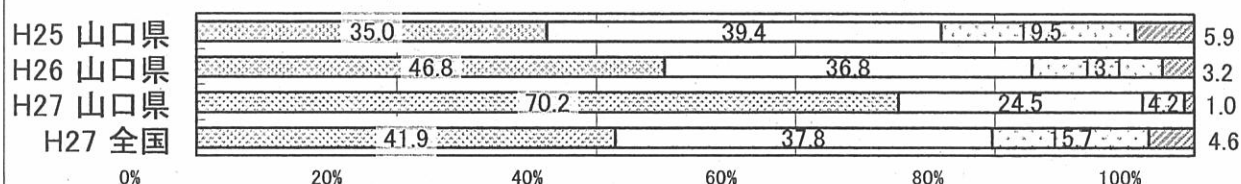
【小学校】 41 授業のはじめに、授業の目標(めあて、ねらい)が示されていたと思う

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】 41 授業のはじめに、授業の目標(めあて、ねらい)が示されていたと思う

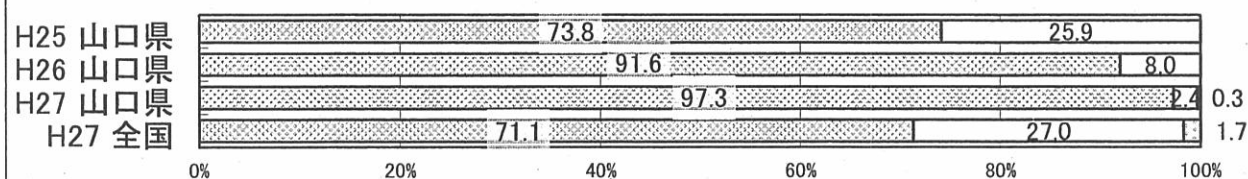
□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



[学校質問紙]

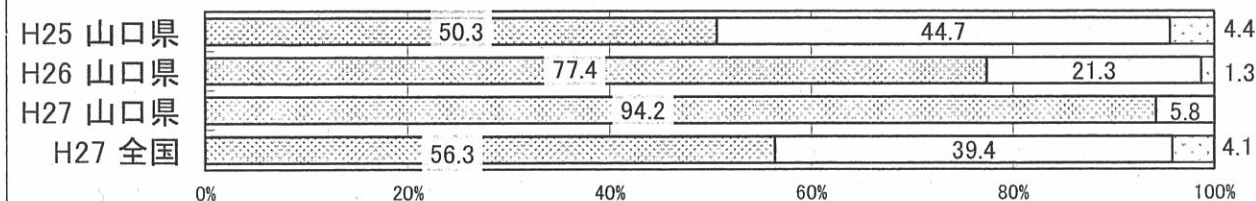
【小学校】 29 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を児童に示す活動を計画的に取り入れた

□よく行った □どちらかといえば行った □あまり行っていない □全く行っていない



【中学校】 29 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を生徒に示す活動を計画的に取り入れた

□よく行った □どちらかといえば行った □あまり行っていない □全く行っていない



[学校と児童生徒の回答状況の比較]

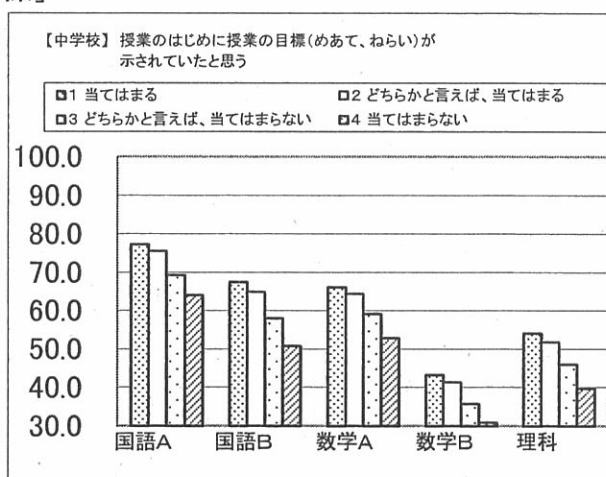
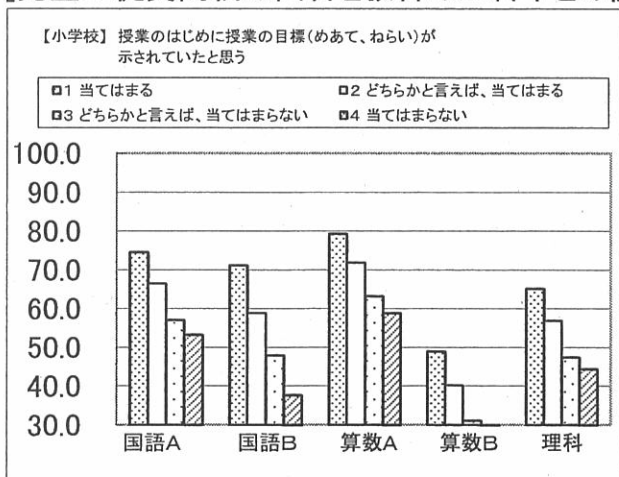
【小学校】

	学校質問紙	児童質問紙	差
	「よく行った」・「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合	「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合	
25年度	99.7%	85.4%	14.3%
26年度	99.6%	88.7%	10.9%
27年度	99.7%	93.8%	5.9%

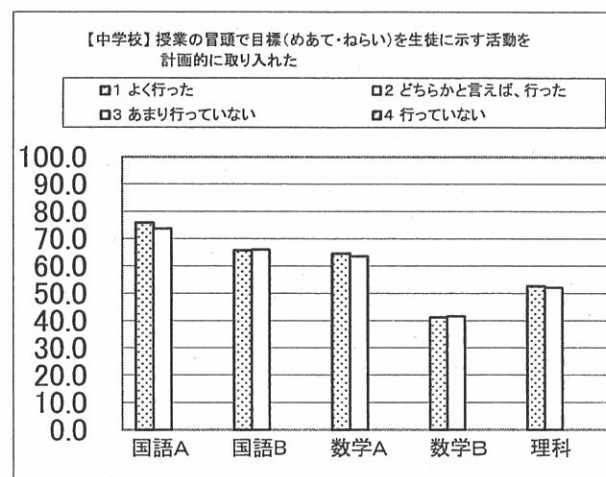
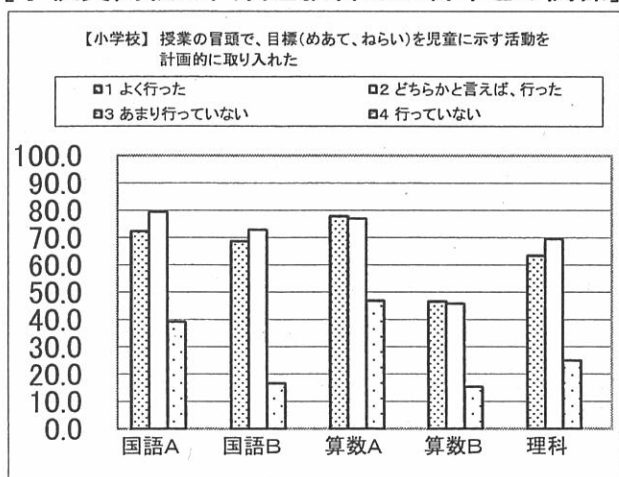
【中学校】

	学校質問紙	生徒質問紙	差
	「よく行った」・「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合	「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	
25年度	95.0%	74.4%	20.6%
26年度	98.7%	83.6%	15.1%
27年度	100.0%	94.7%	5.3%

[児童生徒質問紙の回答と教科の正答率との関係]



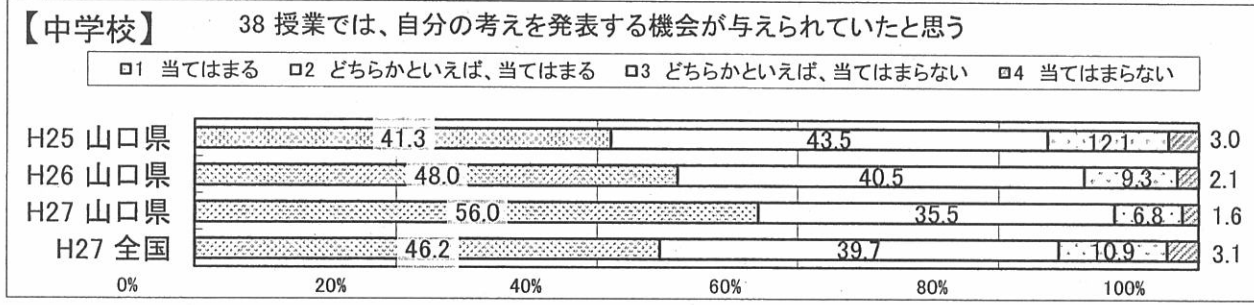
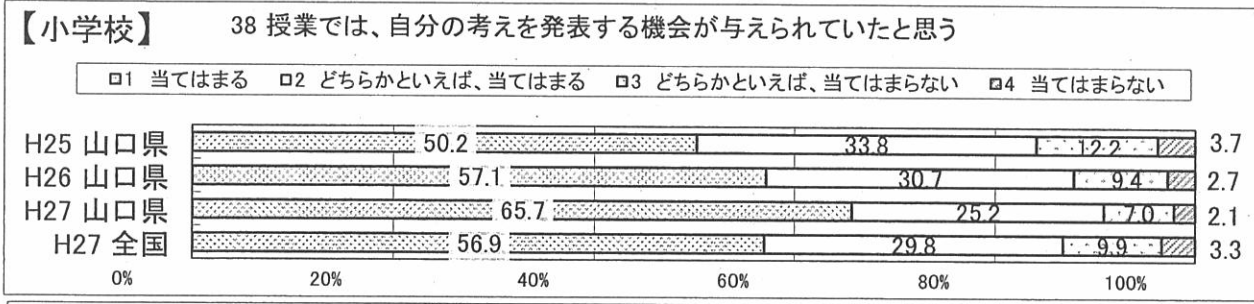
[学校質問紙の回答と教科の正答率との関係]



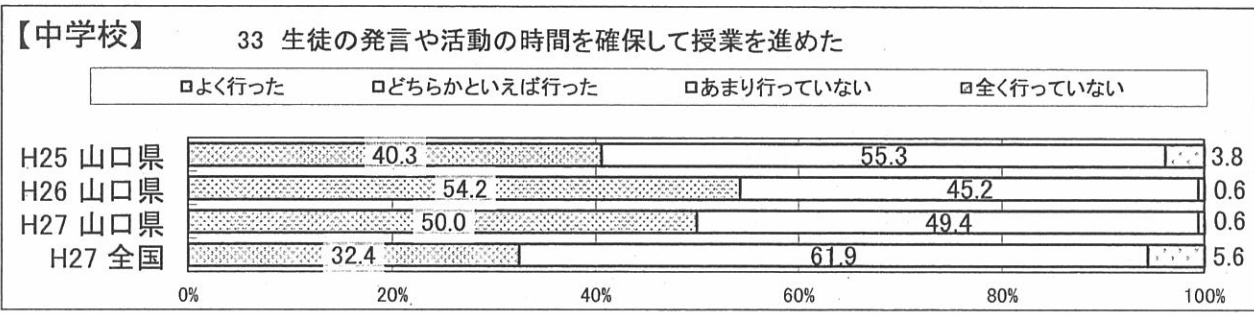
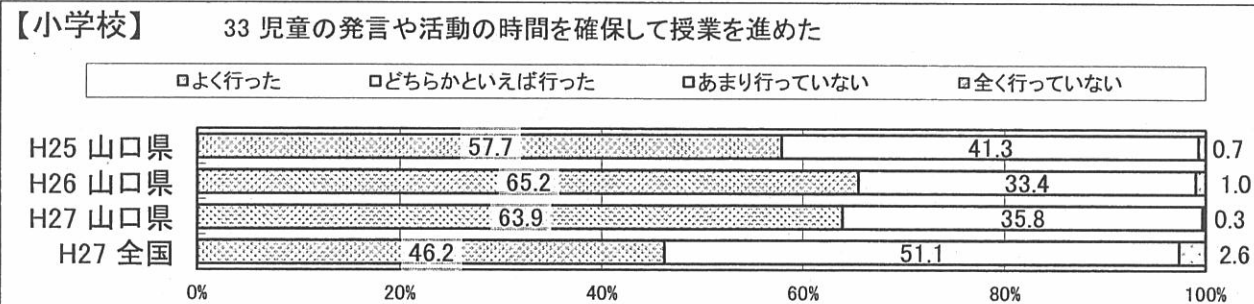
イ 授業で発表する機会

- 自分の考えを発表する機会が与えられていたと思うと回答した児童生徒の割合と、そのような時間を確保して授業を進めた学校の割合は、全国と比べて高い。
- 児童生徒と学校の回答状況を比較すると、ほとんどの学校が指導を行ったと回答しているものの、そのように受け取っていない児童生徒が1割程度存在する。
- ☞ 肯定的に回答した児童生徒の方が、全ての教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、引き続き、児童生徒が発言や活動ができた実感できる場の設定を確保することが必要である。

[児童生徒質問紙]



[学校質問紙]



[学校と児童生徒の回答状況の比較]

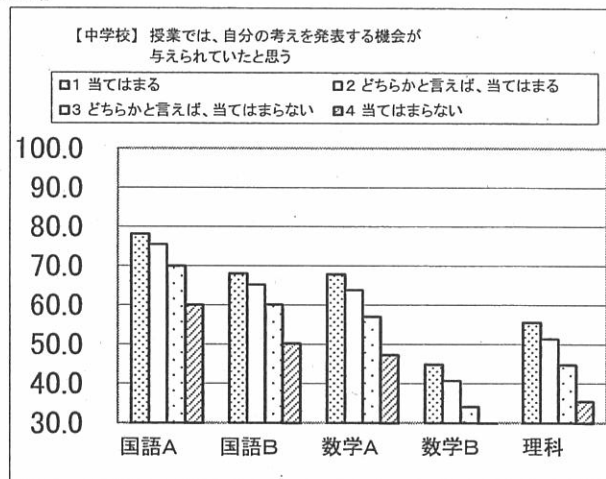
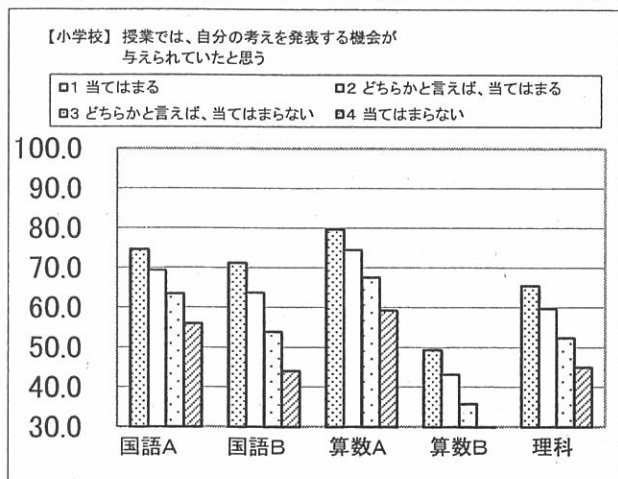
【小学校】

	学校質問紙	児童質問紙	差
	「よく行った」・「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合	「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合	
25年度	99.0%	84.0%	15.0%
26年度	98.6%	87.8%	10.8%
27年度	99.7%	90.9%	8.8%

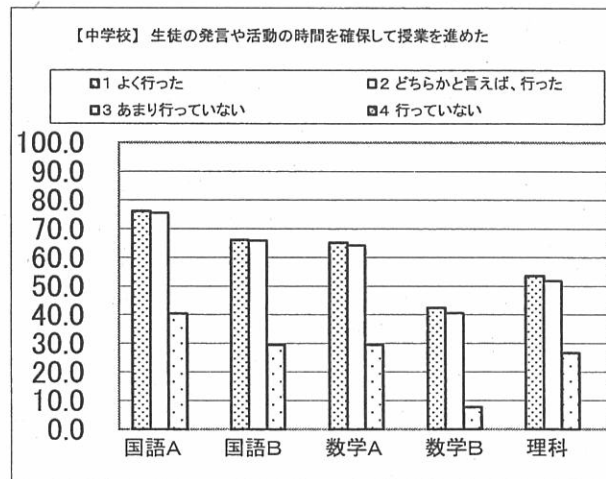
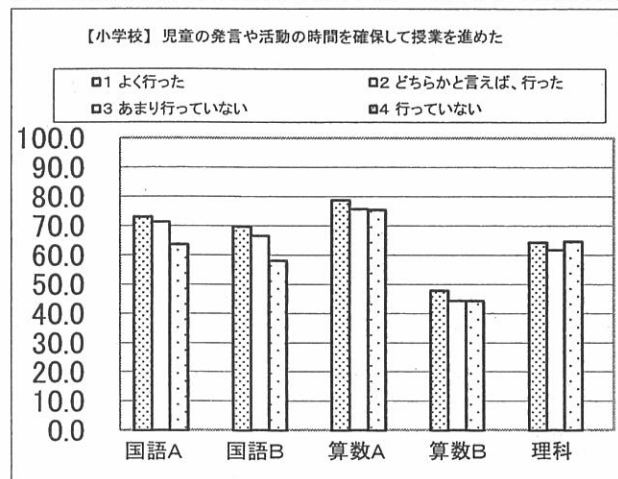
【中学校】

	学校質問紙	生徒質問紙	差
	「よく行った」・「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合	「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	
25年度	95.6%	84.8%	10.8%
26年度	99.4%	88.5%	10.9%
27年度	99.4%	91.5%	7.9%

[児童生徒質問紙の回答と教科の正答率との関係]



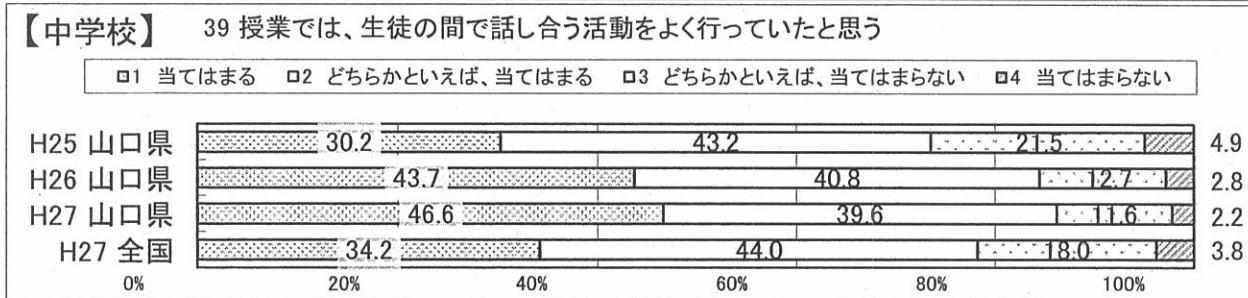
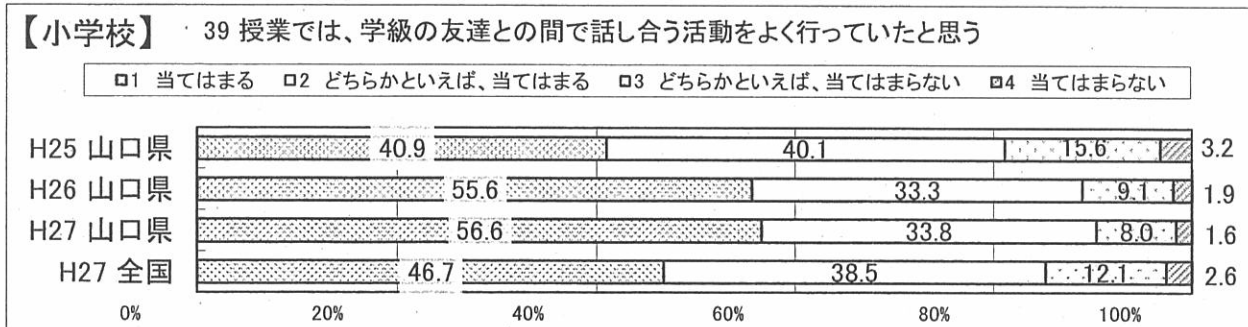
[学校質問紙の回答と教科の正答率との関係]



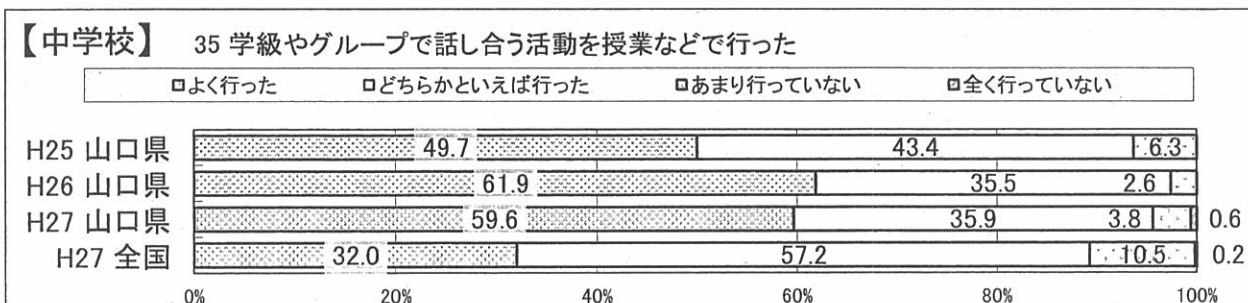
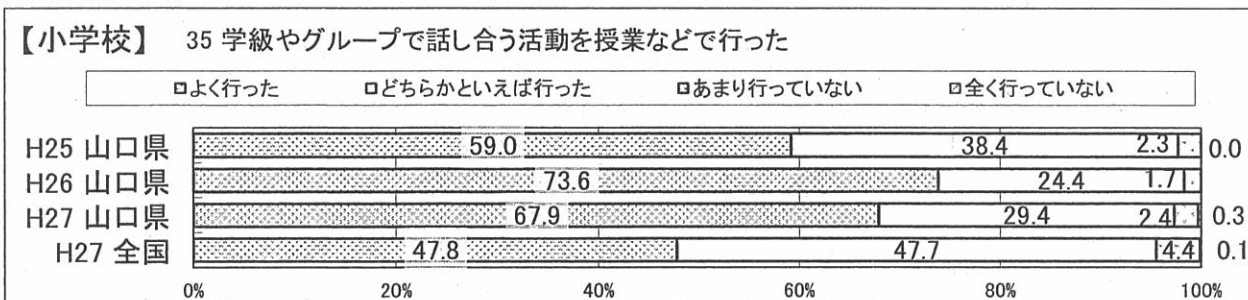
ウ 学級の友達との間で話し合う活動

- 学級の友達との間で話し合う活動を行ったと思うと回答した児童生徒の割合と、そのように考えている学校の割合は、全国と比べて高い。
- 児童生徒と学校の回答状況を比較すると、多くの学校が指導を行ったと回答しているものの、そのように受け取っていない児童生徒が1割程度いる。
- ☞ 肯定的に回答した児童生徒の方が、全ての教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、引き続き、児童生徒にとって効果のある話し合い活動の場の設定に取り組むことが必要である。

[児童生徒質問紙]



[学校質問紙]



[学校と児童生徒の回答状況の比較]

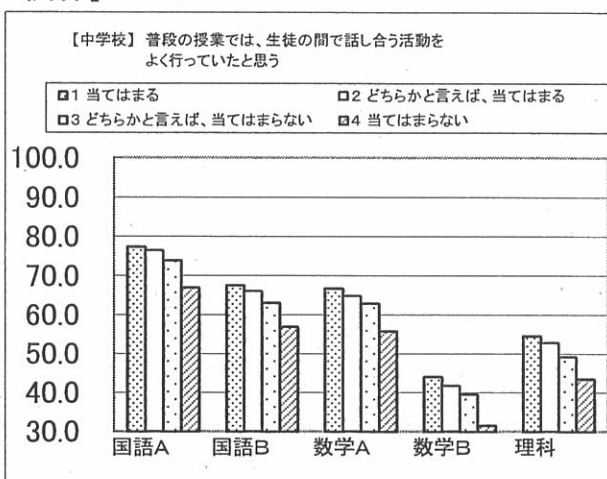
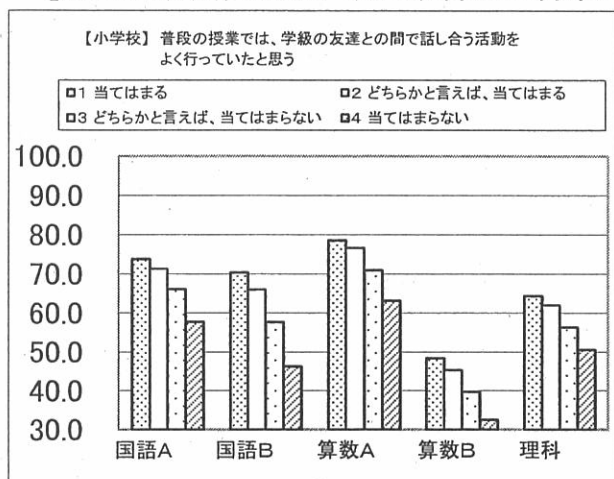
【小学校】

	学校質問紙	児童質問紙	差
	「よく行った」・「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合	「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合	
25年度	97.4%	81.0%	16.4%
26年度	98.0%	88.9%	9.1%
27年度	97.3%	90.4%	6.9%

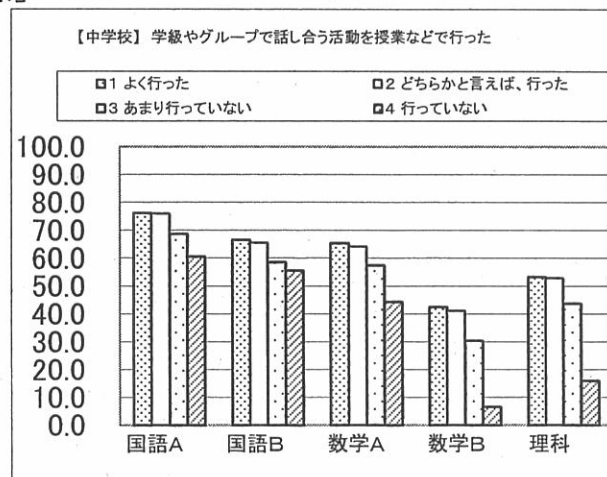
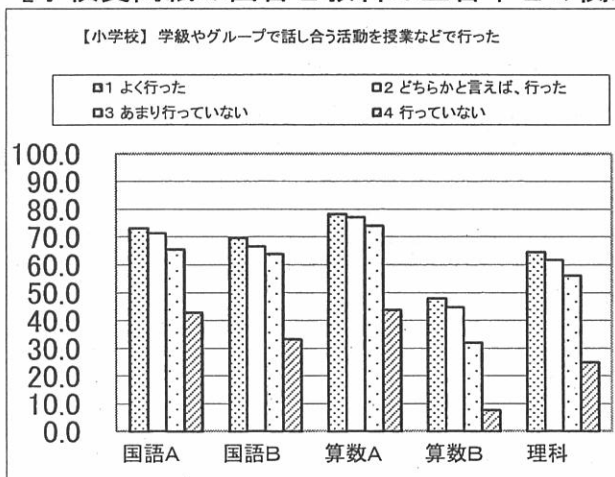
【中学校】

	学校質問紙	生徒質問紙	差
	「よく行った」・「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合	「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	
25年度	93.1%	73.4%	19.7%
26年度	97.4%	84.5%	12.9%
27年度	95.5%	86.2%	9.3%

[児童生徒質問紙の回答と教科の正答率との関係]



[学校質問紙の回答と教科の正答率との関係]



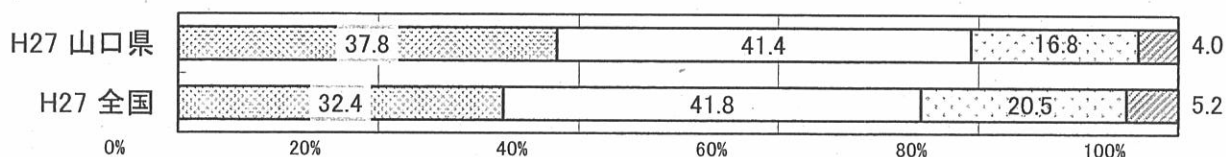
エ 授業における課題解決的な学習<今年度新設問>

- 学級やグループの中で自分たちで課題を立てて情報を集め、話し合いながら整理して発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思うと回答した児童生徒の割合と、そのような活動を行った学校の割合は、全国と比べて高い。
- 児童生徒と学校の回答状況を比較すると、「よく行った」と考える学校の割合より、「取り組んだ」と思う児童生徒の割合の方が高く、学習活動のとらえ方の違いがうかがえる。
- ☞ 本設問は本年度新設であり、今後求められる「学び方」に関連すると考えられる。今後、このような学習活動の理解を深めるとともに、具体的な実践に取り組んでいく必要がある。

[児童生徒質問紙]

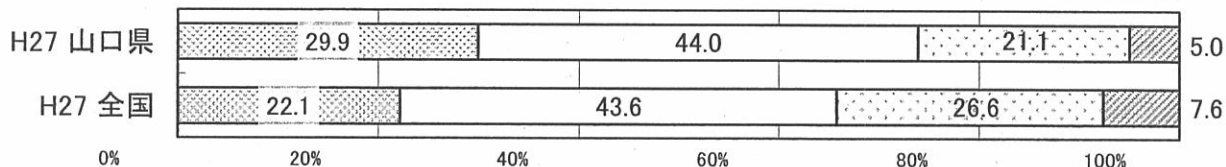
【小学校】 40 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う

1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない



【中学校】 40 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う

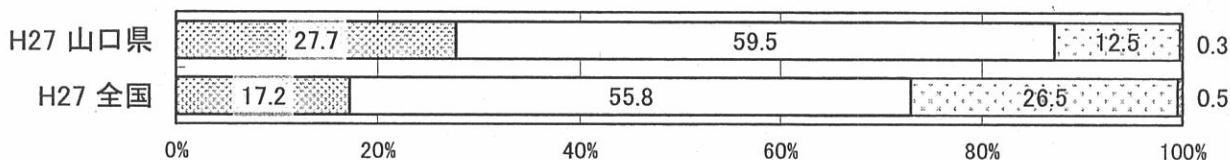
1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない



[学校質問紙]

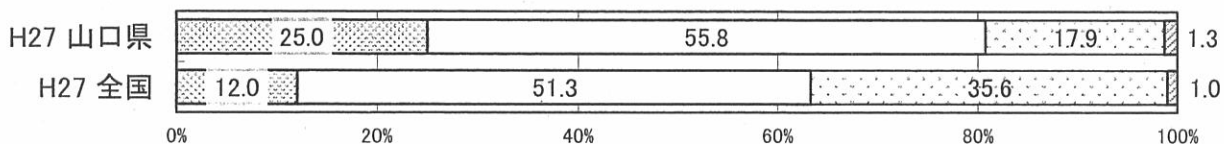
【小学校】 37 授業において児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた

よく行った どちらかといえば行った あまり行っていない 全く行っていない



【中学校】 37 授業において生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた

よく行った どちらかといえば行った あまり行っていない 全く行っていない



[学校と児童生徒の回答状況の比較]

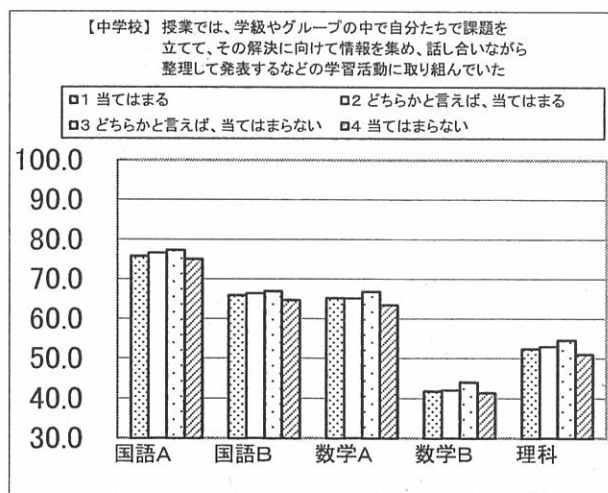
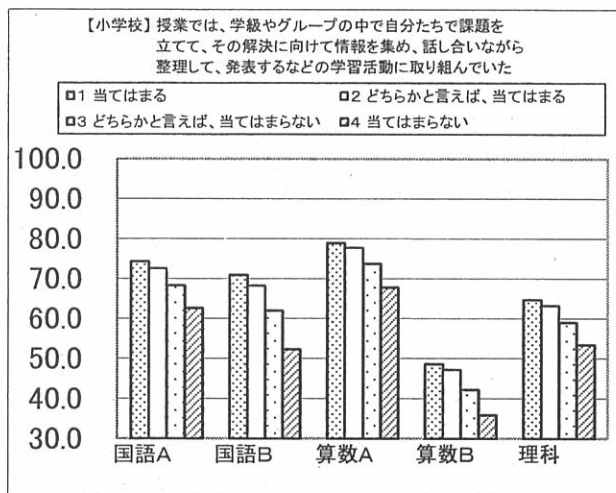
【小学校】

	学校質問紙	児童設問紙	差
	「よく行った」・「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合	「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合	
27年度	87.2%	79.2%	8.0%

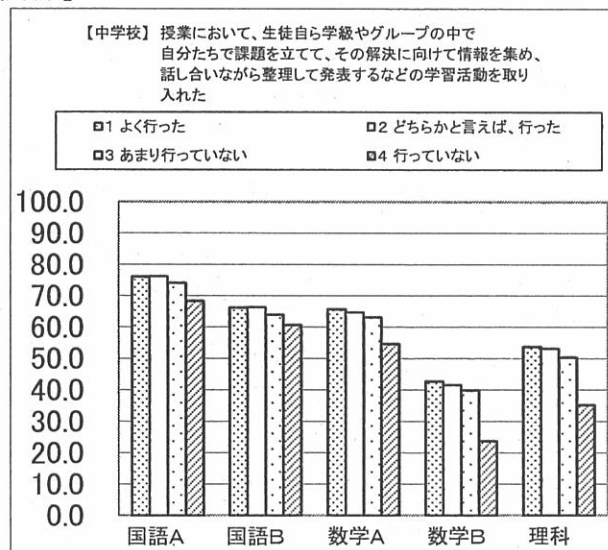
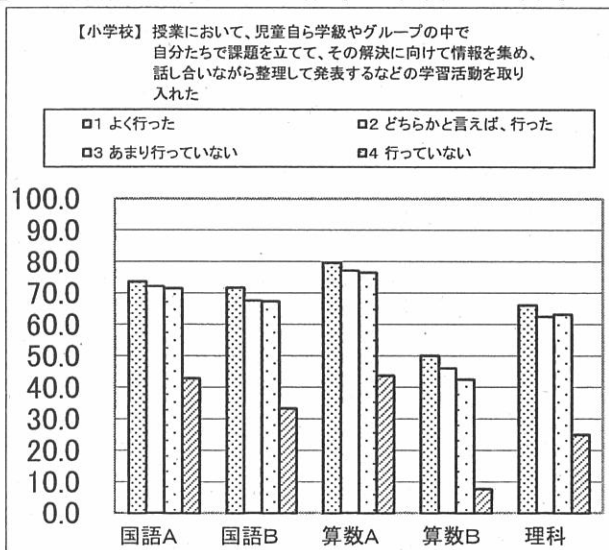
【中学校】

	学校質問紙	生徒質問紙	差
	「よく行った」・「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合	「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	
27年度	80.8%	73.9%	6.9%

[児童生徒問紙の回答と教科の正答率との関係]



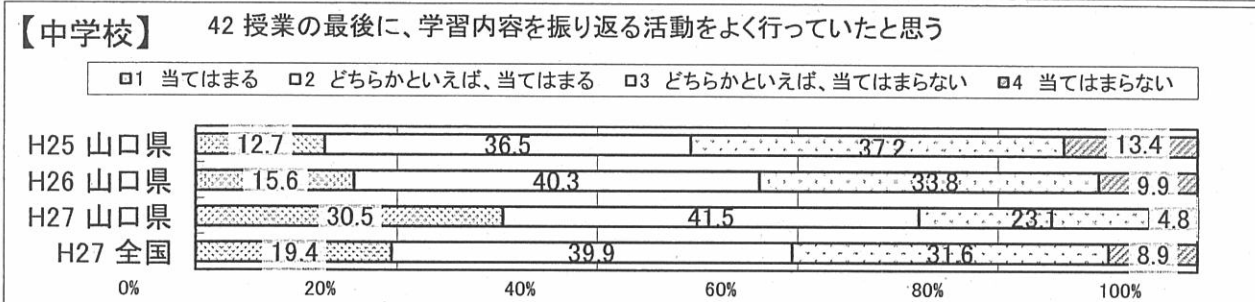
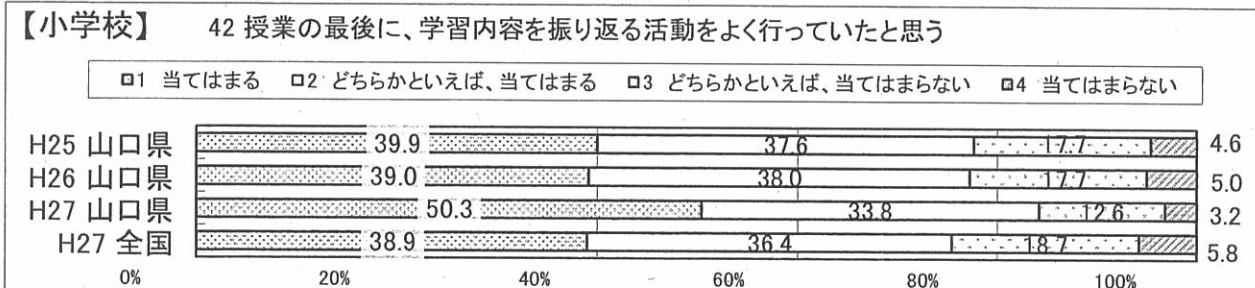
[学校質問紙の回答の結果と教科の正答率との関係]



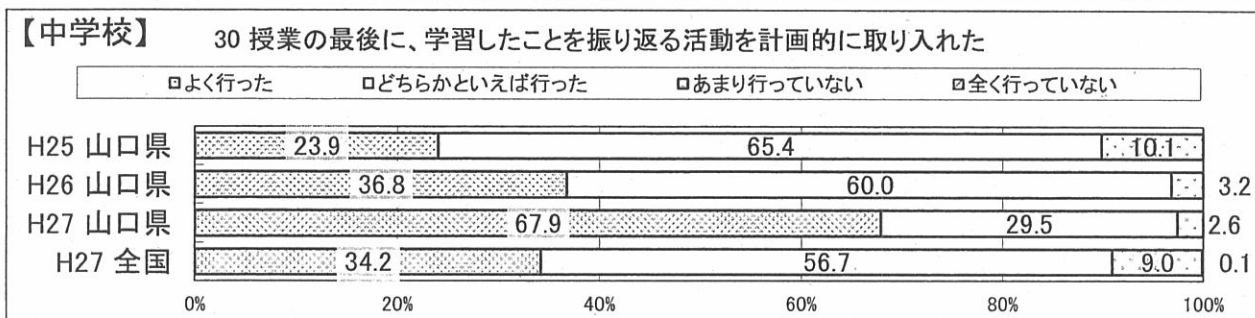
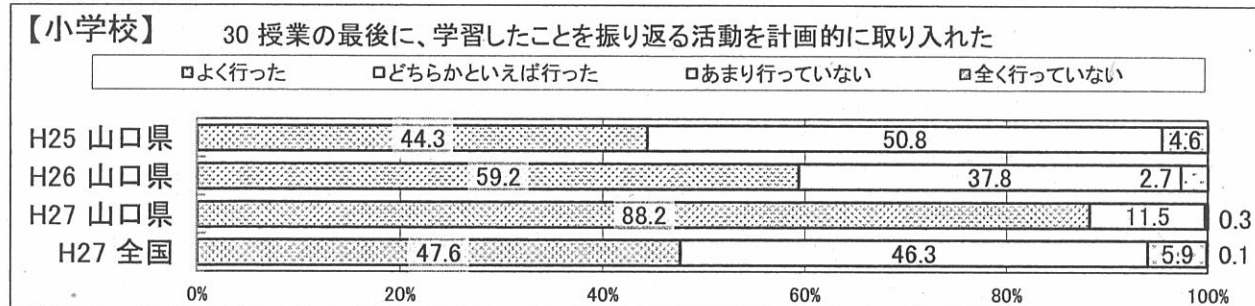
オ 学習内容の振り返り

- 授業の最後に学習内容を振り返る活動を行ったと思うと回答している児童生徒の割合と、計画的に取り入れた学校の割合は、全国と比べて高い。
- 児童生徒と学校の回答状況を比較すると、ほとんどの学校が振り返る活動を取り入れたと回答しているものの、そのように受け取っていない児童生徒が、小学校では15.6%、中学校では25.4%いる。
- ☞ 小学校では、肯定的に回答した児童の方が、全ての教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、振り返りの効果は認められる。今後は、振り返りの活動の質の向上を図っていく必要がある。

[児童生徒質問紙]



[学校質問紙]



[学校と児童生徒の回答状況の比較]

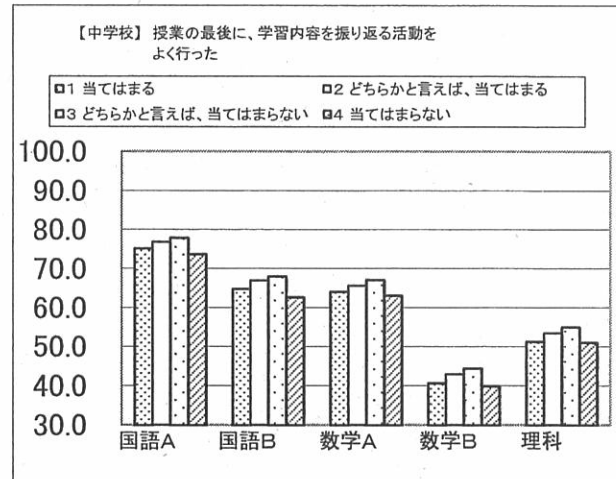
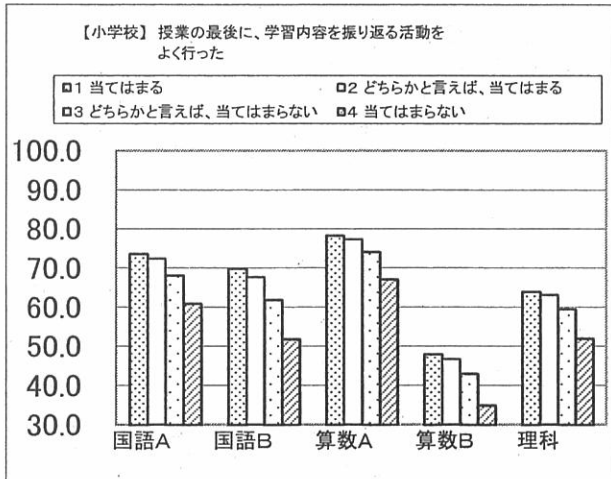
【小学校】

	学校質問紙	児童質問紙	差
	「よく行った」・「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合	「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合	
25年度	97.4%	81.0%	16.4%
26年度	98.0%	88.9%	9.1%
27年度	99.7%	84.1%	15.6%

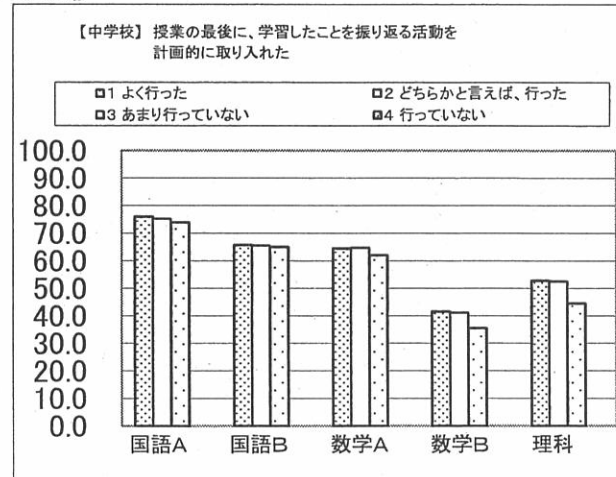
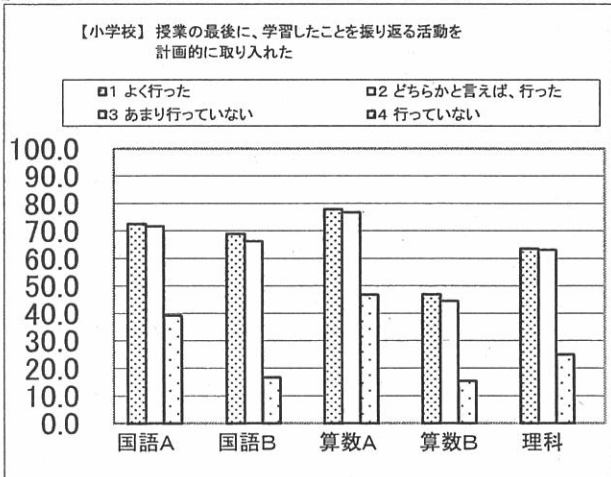
【中学校】

	学校質問紙	生徒質問紙	差
	「よく行った」・「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合	「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	
25年度	93.1%	73.4%	19.7%
26年度	97.4%	84.5%	12.9%
27年度	97.4%	72.0%	25.4%

[児童生徒質問紙の回答と教科の正答率との関係]



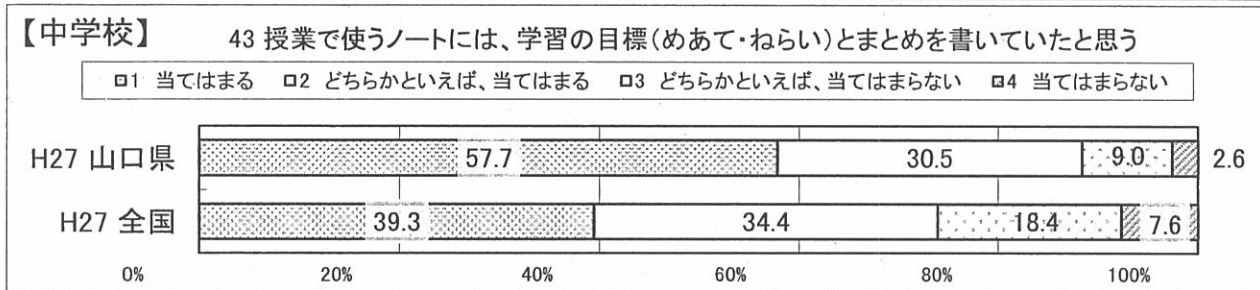
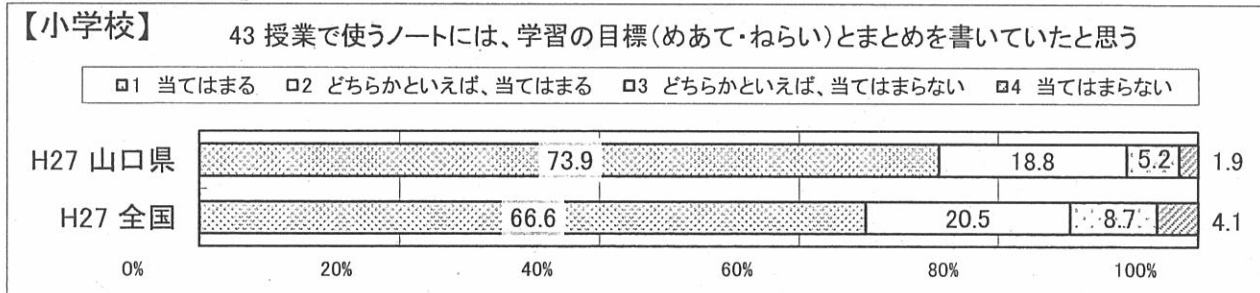
[学校質問紙の回答の結果と教科の正答率との関係]



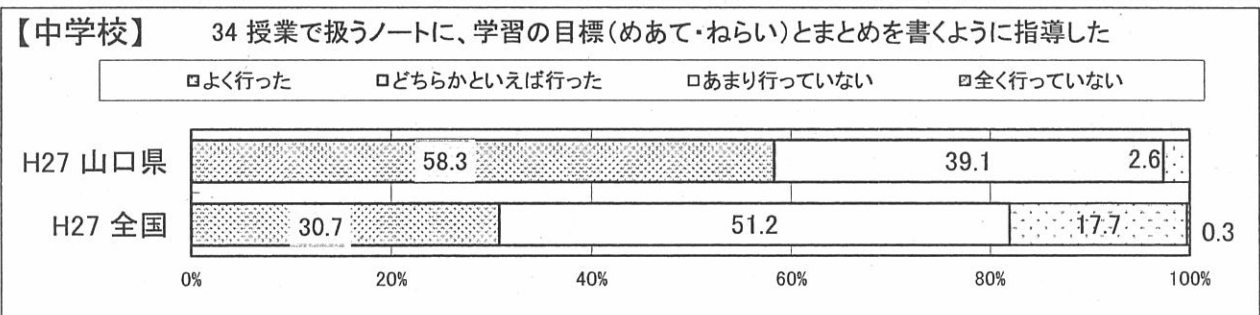
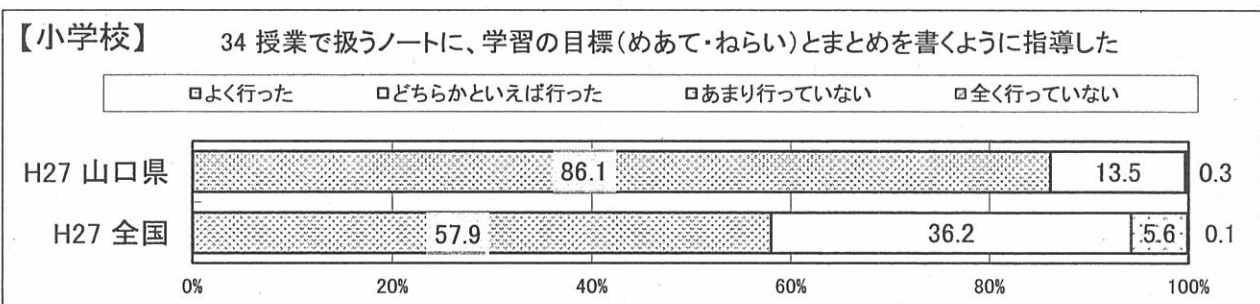
カ ノート指導＜今年度新設問＞

- 授業で使うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いたと思う児童生徒の割合と、そのように指導した学校の割合は、全国と比べて高い。
- 児童生徒と学校の回答状況を比較すると、ほとんどの学校が「よく行った・どちらかというに行った」と回答しているが、そのようにとらえていない児童生徒が1割程度いる。
- ☞ 肯定的に回答した児童生徒の方が、全ての教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、引き続き指導を行うとともに、目標やまとめの記述が意識できるような働きかけや、効果的・機能的なノート指導を行っていく必要がある。

[児童生徒質問紙]



[学校質問紙]



[学校と児童生徒の回答状況の比較]

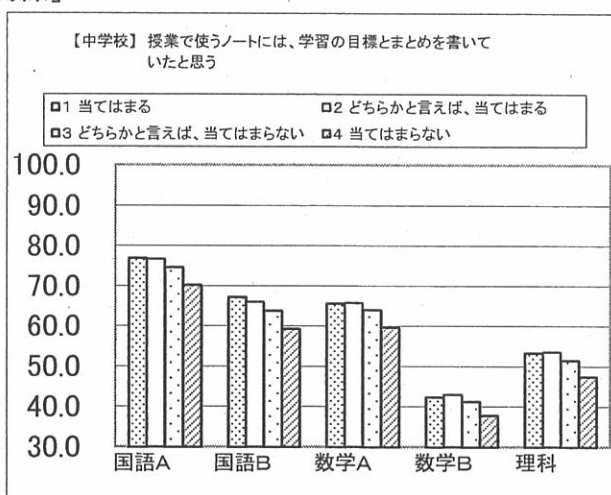
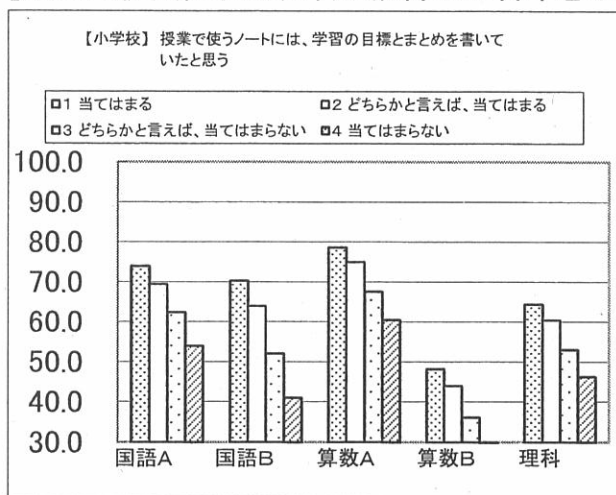
【小学校】

	学校質問紙	児童設問紙	差
	「よく行った」・「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合	「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合	
27年度	99.6%	92.7%	6.9%

【中学校】

	学校質問紙	生徒質問紙	差
	「よく行った」・「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合	「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	
27年度	97.4%	88.2%	9.2%

[児童生徒質問紙の回答と教科の正答率との関係]



[学校質問紙の回答の結果と教科の正答率との関係]

